

獣害（熊など）対応マニュアル



遭遇・目撃者

報告

必要に応じ **110番通報**

所属長（部局長，学類長，担当教員や事務部）へ

報告

報告

連携

- ・状況確認
- ・獣の生息状況調査等

総務部総務課へ

報告

金沢市森林再生課へ

警察へ

報告
指示

学長・理事（危機管理担当／総務・財務・施設担当）

必要に応じ **危機対策本部の設置**

(遠い)

- 騒がない，威嚇しない
- 静かに立ち去る

(近い)

- 騒がない，威嚇しない
- 走らない
- 背中を見せない
- 静かに立ち去る

(近づいてきたら)

- 騒がない，威嚇しない
- 荷物をひとつずつ置いて
静かに立ち去る

夜間・休日の場合は，中央監視室へ連絡
(076-264-6295)

※中央監視室からは緊急連絡網で周知・対応

被害防止に関する対策の実施

- ・学内注意喚起
- ・樹木伐採
- ・草刈り
- ・電子爆音機設置
- ・監視カメラ設置
- など

獣害（熊など）対応の注意事項

1. 熊を目撃したときに被害に遭わないために

熊を見かけたら(遠い)

- 騒がない, 威嚇しない 興奮させてはいけない
- 静かに立ち去る 気付かれないことが大事

熊に出会ったら(近い)

- 騒がない, 威嚇しない
- 走らない 逃げるものを追う習性がある
- 背中を見せない 後ろから襲われやすい
- 静かに立ち去る

熊が近づいてきたら

- 騒がない, 威嚇しない
- クマの気をそらす 持ち物を一つずつ置いていくなど
- 静かに立ち去る

2. 熊に出会わないために

- 食べ歩きをしない 熊は嗅覚が優れている
- ゴミを捨てない 残飯等を目当てに集まる
- 鈴などで音を出して歩く 熊に人の存在を知らせる
- 複数名で通学する
- 薄暗い早朝・夕方は要注意 熊の活動が盛んな時間帯

3. 110番通報する場合

・落ち着いて発見した位置や様子, 被害の有無について正しくはっきりと知らせる。

(例)「金沢大学構内の〇〇棟の裏手で熊を発見しました。」

「小熊でしたが, 近くでガサガサと音がしたので親熊も近くにいたかもしれません。」

「小熊は〇〇方向に移動しました。」

「ケガ人はいません。」

「私は金沢大学〇〇所属の〇〇です。電話番号は〇〇〇〇です。」